

# スリープスプリント治療の手順

様

当院では、この度 徳永呼吸睡眠クリニックより 睡眠時無呼吸に対するスリープスプリントによる治療を依頼されました。実際に治療装具(装置)をお使い頂ける様になるまでには個人差があることをご理解して頂き、ご協力御願い申し上げます。

## 一回目

### 1.口腔内検査、レントゲン検査

装置は歯に支えを求めため、むし歯・歯周ポケット検査、欠損状態を調べます。口の中の状態によっては、すぐに取りかかれない場合もあります。

むし歯や骨の状態、顎の関節の状態、また患者さんの顔面骨格の形態を診断する為、パノラマ X 線写真撮影、必要があれば、顔面側方(正面)X 線写真撮影を行います。

### 2.歯型とり

咬み合わせの状態、歯並びの診断の為に歯型をとります。

## 二回目

### 3.装置作製の為の歯型とり

むし歯、歯周病の治療の後スリープスプリント作製の為の歯型をとります。

## 三回目

### 4.顎の位置決め

装置を口になじませてから顎の位置を決めます。

最初に顎の動きの限界を知る為に下顎を出来る限り前方に出していただきます。次に口を閉じた状態で顎を前方にずらしします。この位置で約数分静止し、顎の関節の痛みや筋肉に無理のないことを確かめます。

## 四回目以降

### 5.スリープスプリント装着

- ①完成した装置を実際に使用して頂きます。
- ②歯の痛み、筋肉痛、顎関節痛が無いことを再度確かめます。

### 6.経過観察と無呼吸の改善状態の検査

- ①約 2 週間後に一度目の経過観察をお願いしております。歯や顎関節に痛みがないか、装置を使用する事が出来るようであれば、無呼吸状態が改善されているかの検査を依頼します。検査は装置が完全に使用できるまでは行いません。

### 7.定期診査と調整

睡眠状態、装置の状況や、口腔内、顎関節の症状などを把握するため定期的に診査、調整させていただきます。予約日に必ず御来院下さい。

以上のような手順で診査をしまいいります。ご質問等お気軽にお尋ねください。

また、徳永豊先生とも連携して治療を進めて参りますので、わからない事がございましたら何でもご相談ください。装着時には「スリープスプリントをお入れになった方へ」という説明書お渡しいたします。必ずお読みください。

2~3週間後には「スリープスプリントをお入れになった方への調査票」で効果を調査いたします。さらにスリープスプリント装着が可能と判断された時点で、無呼吸低呼吸が改善されているかを評価するため、再度の睡眠検査を行うこととなりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。